



藤原 孟 議員  
(無党派)

**問**

高木姉妹がくれた、この感動を未来に継承するために、官民学の総意のもとで、宝物を形として残すことが必要である。

そのため町運動公園スケートリンクを再整備して取り組むべきである。教育長は懸命に滑る姿に感動し「高木姉妹は町民に元気をくれた。勇気づけられた子どもも多い。」と絶賛していた。

ゆえに高木姉妹の出身である幕別町は、スケート王国十勝の中心柱となるよう、町運動公園スケートリンクを維持しつづけ、スケート人口の底辺拡大と次世代育成の役割を果たすべきであるとの思いから次の点を伺う。

- (1) 学校体育での利用状況と底辺拡大の役割を担っている見解は。
- (2) リンクに音楽を流すための有線放送設備の設置を。
- (3) リンクの使用時期を早めるため、下地を火山灰に置き換える考えは。
- (4) 夜間照明の拡充、ガードマットの設置を。

**問** 銀色の涙、金色の笑顔、町の宝といわせた高木姉妹の成果と功績を次世代に努力することの大切さや仲間との絆の素晴らしさが子どもたちにも伝わったものと感じた

- (5) 経年劣化した機材の更新を。
- (6) 管理棟の改修と拡張の考えは。
- (7) 町運動公園リンクにネーミングを行い、高木姉妹の冠をつけた大会を開催する考えは。

**教育長**

(1) 現在、自校でスケートリンクの造成を行わず、幕別運動公園スケートリンクを利用している幕別小学校では、低学年と中学年では2時間を1回として6回、高学年では5回利用しており、最後の1回は記録会を実施している。

町内小学校の体育において、冬場の自然との関わりの深いスケートやスキーを、学校や地域の実態に応じて積極的に取り組んできたことは、それぞれのスポーツ人口の底辺拡大に寄与しているものと認識しており、引き続き、継続していきける環境の整備に努める。

(2) 現在の放送設備は、スケート大会時の会場アナウンス用の設備で、AMラジオのみが放送可能で、リンクの清掃や散水などの作業中にラジオ放送を流す程度である。

リンクを利用する子どもたちの聴きたい音楽もさまざま、一律に音楽を流すことが個々のリズムを乱すなどの妨げにつながる恐れもあることから、有線放送の設備については、現時点では考えていない。

(3) 運動公園スケートリンクは降雪量が少ない状況でも、管内の屋外スケートリンクでは極めて早い時期のオープンであり、さらに早い造成は、大変厳しいと考えている。

下地を火山灰で置き換えることについては、火山灰を利用した場合、夏季には乾燥した状態で風が吹くと空中に舞いやすいという懸念があることから、現在の方法でリンクを造成していきたい。

(4) 運動公園スケートリンクの照明は、20灯の電灯を4カ所から照らしており、夜間の練習に支障がないと認識している。LED化や灯数増設は、現段階では考えてない。

ガードマットの設置については、通常、降雪により、リンクサイドには雪の盛り上がりができ、コーナーで転倒した際の飛び出し

を防止する役目を果たしていたが、今シーズンには雪不足によりリンク外側の地面が出ており、リンク外への飛び出し防止措置が不十分であったと認識している。

今後、雪が少ない気象状況が続く場合は、リンク外への飛び出し防止や衝撃を和らげるネットなどの設置を幕別町スケート協会と協議し、安全性の確保に努める。

(5) 散水車2台と除雪や製氷用のトラクター1台は修理で対応でき、ホーキングマシンは既製品ではなく特別に発注購入したものであるが、必要に応じて部品の交換を行いつつ使用しており、更新することなく必要な整備で対応できる範囲と認識している。

(6) 管理棟は、平成11年に建設された23年が経過し、この間、必要に応じて改修や修繕を行ってきた。幅広い世代にスケートに慣れ親しんでいただくことを目的に運営しているため、競技の専門性が高くなるダブルトラックの整備や管理棟拡大の考えは持っていない。

(7) 施設のネーミングについては、機運の盛り上がりがあれば、検討も必要と認識している。

高木姉妹の冠を付けた全十勝規模の大会を開催することについては、既存の大会と重複やスタッフの確保等困難な面がある。